

氣の百味



創立50周年記念演武大会

合気道川越道場

創立45周年

入間幸武館道場

創設30周年記念行事開催

志木合気会

20周年行事

日高市合気道同好会

第6回さいたま市合気道市民大会

さいたま市合気道連盟理事長

道場紹介

新郷合気会

一期一会

合気道川島町同好会

彩のなでしこ

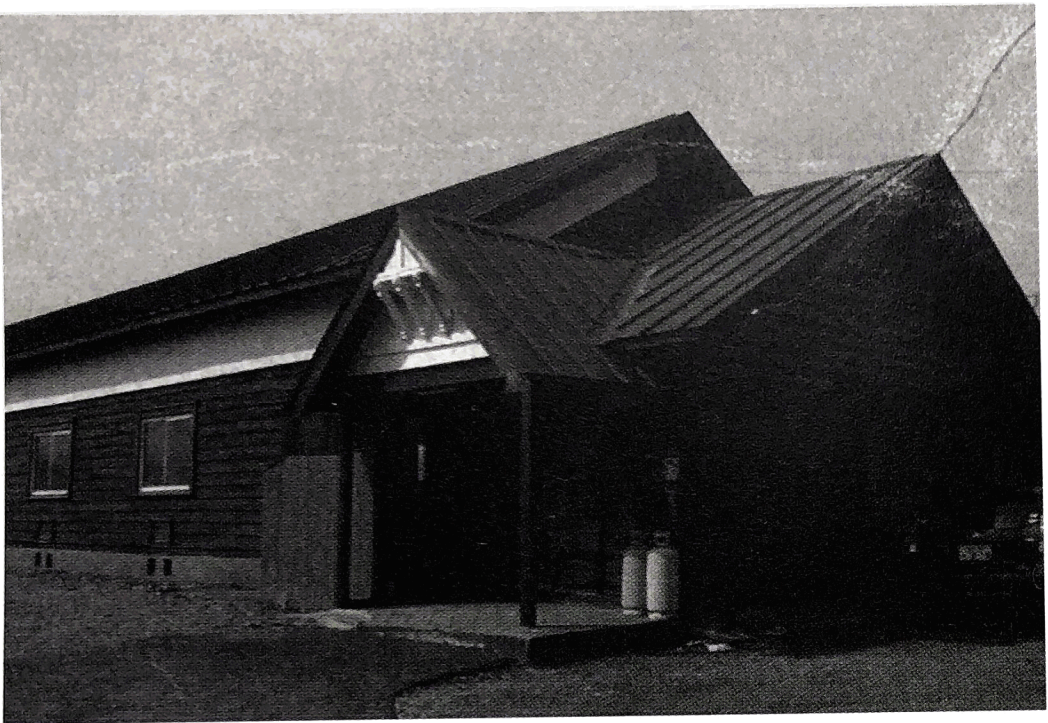
合気道修練道場自然館

創立45周年

光陰矢の如しとはよく言ったものです。今、振り返って見れば走馬灯の如く月日が過ぎ、懐古してみたいと思います。

幸武館道場は、昭和七年に当地域の農家組合の共同稚蚕飼育所として建設された建物です。当時この地域では養蚕業が盛んでした。

昭和四七年に当地区の武道愛好家の熱心な後援により武道専用道



入間幸武館道場

関戸 章弘

場として改造されました。総坪数九〇余坪あり、当初の屋根は瓦葺きで合ったため、耐震を考慮して、平成一二年にトタン張り工事が実施され現在に至っています。

幸武館道場の名の由来は、中島正吉館長の御尊父で中島幸太郎氏（故人）の「幸」をいただいたもので、発足以来、剣道部、居合道部が稽古に励み、昭和四八年六月より合気道部がスタートしました。

当初、当地域では合気道はあまり知られておらず、是非一度見せてくれないかとの依頼があり、近くに住んでいた学生時代の後輩である田中君と向山君に来てもらい、板の間の上で演武をしました。当時は若かった事もあり、遠慮せずに投げたものですから、観ていた人達から「痛そう」という声が聞こえてきました。

この演武を機に、幸武館での合気道部がスタートしたのでした。最初にした事は畳の手配からでし

た。近所の畳屋さんから古畳を譲ってもらい、稽古のたびに畳を敷き、終わっては道場の隅に積んで置くとの繰り返しでした。この間約三年は、現在の館内の約三分の一（四五畳）を合気道部専用道場として利用し、稽古しておりました。

設立当初は、合気道の普及と会員増強のために近隣の中学校へお願いをし、運動会の当日の昼休みの時間をもらい、校庭にビニールシー



トを敷き演武をやらせてもらっていました。また、毎年春と秋には「合気道体験教室」を開催しております。この秋で三八回を迎えました。

試行錯誤しながら、楽しく、元気に、怪我をさせないことをモットーに精進していく覚悟しております。今後とも同門の諸先生、諸先輩方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。